

(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

① 川原から対岸に進むにつれ、川の深さはどう変わっているか調べよう。

② ㉗, ㉘附近で、それぞれ10mの長さを取り、川の流速を調べてみよう。

また、川原の近くと、対岸近くで木片を流して速さを較べてみよう。

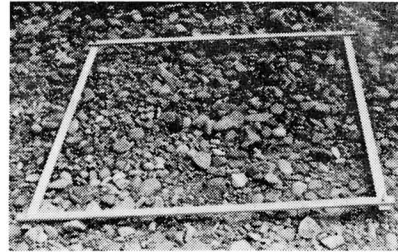
③ ㉗の川底と㉘の川底で、つもっているものはなにか。

水中のぞき箱で、㉘の川底を見ると、砂やゴミが流されている様子が観察されます。

④ 流れの速さと、川の深さ、川底につもっている粒の大きさ、川岸のけずられ方との間に、どのような関係があるか、まとめてみよう。

(4) 川原のレキを調べる。

川原のレキや砂のつもり方が平均している所を選んで、1m四方の方形枠を置く。



方形枠内に入っている、長径5cm以上のレキを全て、ビニルシートに取り出す。(表面に見えているレキのみ)

① 大きさに分ける。

レキの大きさによって、5~10cm, 10~15cm, 15cm以上に分け、その数を調べる。

② レキの形を調べる。

レキの形を、まるい石、ややまるい石、角ばった石の3つに分け、その数を調べる。

③ レキの種類

レキの大部分は安山岩で、砂岩のレキも含まれている。これらのレキは、いつ、どのようにして運ばれてきたのか話し合ってみよう。

④ 調べた結果を表にまとめる。

大 き さ (cm)			形			種 類	
5~10	10~15	15以上	円	亜円	角	安山岩	砂岩
36	5	0	12	28	1	39	2
88%	12%	0%	30%	68%	2%		